

検定試験の自己評価シート

自己評価実施日：平成29年9月13日

検定事業者名：特定非営利活動法人 国際市民交流のための イタリア語検定協会

検定試験名：実用イタリア語検定

【5段階評価の目安】

A：十分達成されている B：おおむね達成されている C：一部達成されている D：あまり達成されていない E：ほとんど達成されていない

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
<p>【評価の視点】 組織としての理念・目的が明確であり、検定試験を継続的・安定的に実施するために必要な組織体制や財務基盤を有するとともに、実施主体自身がPDCAサイクルに基づき、組織的・継続的に事業を改善していく組織となっていること。また、受検者や利用者(学校・企業等)への適切な情報公開と個人情報の保護がなされていること。</p>						
1 実施主体	① 組織	1	○検定試験を実施する組織としての理念や目的が明確である。	本協会は、個人の語学能力を客観的に認定してもらいたいという学習者の要望に応じて、1995年以来毎年春と秋の2回、国内13都市とイタリアの2都市において検定試験を実施してきた。 主たる事業であるイタリア語検定試験を継続し、イタリア語学習の一助となるとともに、イタリア語よるボランティア活動などを希望する人の紹介や通訳などの社会活動の紹介を行い、日本とイタリアの観光、文化、芸術、スポーツ、学術研究などにおける人材交流において、“ことば”の面から支援・貢献することを期すものである。 【イタリア語検定協会について】 http://www.iken.gr.jp/association/	A	
		2	○検定試験を実施することの社会的使命が明確である。	イタリア語能力を身に付けた人や学習者たちによる貢献が大いに期待されながらも、それらの人たちを活用しうる核となる機関が無かった。広く市民レベルの社会ニーズに応えるためには、非営利で語学能力を測定し、適宜人材紹介等を行うことのできる中立的機関が必要であると考え、当協会は設立された。 【イタリア語検定協会について】 http://www.iken.gr.jp/association/	A	
		3	○検定試験を実施する組織(役職員体制、事務処理体制、作問体制、危機管理体制等)が、検定試験の目的、使命を達成するための組織として適切に構成されている。	役職員体制：意思決定の最高機関として会長が統括する理事会を置いている。日常の運営・事務処理のためには事務局を置き、理事会の決定事項を実施・運営している。 作問体制：問題作成は、別途定める作問・問題評価手順に従って公正に遂行されることとしている。 事務処理体制：日常の運営業務は事務局が行っている。受験申込の受付から結果通知の発送までの業務、および受験者からの問合せ窓口については業務委託契約を締結した外部の委託業者が事務局に代わって業務を執り行っている。 危機管理体制：災害、事故、問題漏えい、不正など受検者等への重大な影響がある事態に対しては別途定める危機管理マニュアル(非公開)に従って、適切に処理されることとしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 役職員体制、 <input checked="" type="checkbox"/> 事務処理体制、 <input checked="" type="checkbox"/> 作問体制、 <input checked="" type="checkbox"/> 危機管理体制	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
1 実施主体		4	○手続等に関する問い合わせ、試験後の問い合わせ先が設置され、受検願書やホームページ等に適切に公開されている。	受験者からの問合せについては事務局が随時対応するほか、第32回から運営実績があり、ノウハウが蓄積されている外部の委託業者に受験サポートセンターを設け、対応している。これらの連絡先情報は検定要項と公式サイトに明示している。 事務局電話番号:03-5428-5630 受験サポートセンター電話番号:03-5209-0553 【出願方法】 http://www.iken.gr.jp/apply/	A	
		5	○目標(Plan)－実行(Do)－評価(Check)－改善(Action)というPDCAサイクルに基づき、組織的・継続的に事業を改善している。	より良い受験環境実現のため、毎回の検定実施時にアンケートを実施し、要望、意見、クレームなどの情報を収集している。それとあわせ、各受験会場の試験監督に意見やトラブルを教室台帳に記入させ、事務局に報告させている。 これらの手段により収集された情報は事務局にて対応可能なものは即座に実行するほか、運営の基本方針に係る事項については理事会に諮り、次回の検定実施の際に改善事項を反映させている。 これらのプロセスはPDCAサイクルに基づき実施回ごとに反復され、受験者の反応をチェックし、次の施策に生かしている。 【出願方法・受験者の声】 http://www.iken.gr.jp/result/index.html#enquete http://www.iken.gr.jp/voice/index.html#enquete	A	
	② 財務	6	○実施主体の財務経理情報を備えている。(検定試験を継続して実施している場合には、複数年分。) (財務経理情報の例) 収支計算書、貸借対照表、財産目録等	<input checked="" type="checkbox"/> 備えている(決算報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、活動計算書、正味財産増減計算書、収益事業区分計算書、三期比較損益計算書) <input type="checkbox"/> 備えていない	A	
		7	○財務経理担当者等に対する内部牽制体制が確立されている。	外部に監査役(税理士事務所)を置き、月次出納帳を監査役に提出することにより、不正行為を監視している。また、四半期に一度、代表者(会長)に出納帳を提出し、不正行為を監視している	A	
		8	○財務経理に関して、定期的または適宜監査を受けている。	<input checked="" type="checkbox"/> 受けている(<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査、 <input checked="" type="checkbox"/> 外部監査、 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 受けていない(理由:)	A	
	③ 情報公開・個人情報	9	○情報公開する項目や方法などを明確に定めている。	情報公開する項目や方法などを明文化してはいないが、特定非営利活動法人として、特定非営利活動促進法に則り東京都生活文化局にて事業報告書、財務諸表、役員名簿などを公開している。 あわせて、これらの情報は公式サイト上で公開されている。 【イタリア語検定協会について】 http://www.iken.gr.jp/association/index.html#finance	A	
		10	○受検者の個人情報保護に関する方針やマニュアル等が整備されている。	個人情報保護方針を公式サイトに公開しているとともに、個人情報保護マニュアル(非公開)を用意している。なお、個人情報保護条項を含めた業務委託契約を締結している委託業者はプライバシーマークを取得しているとともに、個人情報漏えいについて保険に加入し、万一情報が漏えいした場合に備えている。 【イタリア語検定協会について】 http://www.iken.gr.jp/association/index.html#finance	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
2 実施内容	【評価の視点】 検定試験の目的や内容が明確であり、これらと整合する適切な測定手法や審査・採点の基準等を有すること。					
	① 目的	11	○どのような知識・技能を測るかという検定試験の目的が明確である。	イタリア語学習者の運用能力を「読み、聴き、書き、話す」各分野で測定し、結果を提示することにより、受験者に学習の指標と目標を与え、学習への意欲を増進させることを目的とした検定である。 【検定概要】 http://www.iken.gr.jp/outline/	A	今後、各級の出題範囲をより明確に公表することが必要と思われる。
	② 内容	12	○検定試験の内容が以下の点で明確で、検定試験の目的にかなっている。 < 検定試験で測る具体的な知識・技能とその水準 > 領域(分野) / 対象層(受検資格等) / 試験範囲 / 難易度 / その他(特色等)	検定要綱および公式サイトに各レベルに求められるイタリア語運用能力と出題分野(リスニング、文法、作文など)が明記されている。 “実用”イタリア語検定を標榜しているため、各レベルともリスニング分野の配点比重が高いのが当検定の特色である。 【検定概要】 http://www.iken.gr.jp/outline/	A	
	③ 手段	13	○知識・技能の測定手法(筆記試験、CBT試験、実技試験、面接試験等)、審査・採点の基準が適切である。	「合否判定基準」(非公開)に定められた手法と基準でリスニング、文法(文法、語彙、構文、読解)、作文の各分野の合格基準点を決定している。この合否判定基準は、過去6回あまりの各級の統計情報を分析して独自に開発した手法であり、基準である。 また、1級と2級に課せられる口述試験においても、予め定められた評価・採点基準(非公開)により合否を決定している。	A	
	④ その他	14	○試験結果から得られるデータ等に基づき、検定試験の内容や測定手法、審査・採点基準等について、質の確保や継続的な改善を図っている。	過去6回あまりの統計データを分析し、独自の合否判定法(非公開)を制定し、2013年秋季検定(第37回)より適用・運用している。その1年後には、直前2回の結果を分析し、合否判定基準の見直しを行い、一部の基準を修正した。 また、各実施回ごとに全問題の正答率などの統計データを作問コーディネーター及び問題評価委員が参照し、各作問者に対して次回の改善点を指示することにより、PDCAサイクルに則した改善を継続している。	A	
2 実施内容	【評価の視点】 事前準備、事後対応を含め、適正かつ公正で透明性の高い検定試験の実施体制を有するとともに、受験手続を明確にした上で目的や内容、規模等に応じた適切な取組を行っていること。					
		15	○試験の実施規則・要項等の受験手続が定められている。	受験時の注意事項や受験申込方法については検定要項に明記するとともに、公式サイトに掲載している。 【検定概要】 http://www.iken.gr.jp/outline/ 【受験案内】 http://www.iken.gr.jp/info/ 【出願方法】 http://www.iken.gr.jp/apply/	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
3 実施 手続	① 事前 準備	16	○試験実施前の情報管理対策(情報管理マニュアルの整備や担当者への研修・注意喚起など)が講じられている。 (例) 試験問題、解答等の作成、印刷、搬送、保管	機密情報管理マニュアル(非公開)が整備されているほか、以下の書面を各関係者と取り交わすことにより、試験実施前の情報管理の保全を図っている。 ・各作問者との守秘義務条項を含む労働契約書 ・試験問題の発送先であり、保管者である各実施会場責任者との覚書 ・問題印刷業者との機密保持契約(印刷に使用した版下、版、試し刷りなどは印刷物納品時に当協会に提出し、当協会が復元不可能な手段で廃棄することとなっている)	A	各関係者との契約書の中には長い年月の間に散逸しているものがあるため、新たに契約を締結中である。
		17	○受検者に対し十分な出願期間が確保されている。	出願期間は試験実施の1か月半前からの約1か月となっている。この出願時期は過去20年余りの実施経験をもとに設定されたものであると同時に、受験票や会場手配などに必要な期間を確保するために設定されたものである。なお、検定要項は試験実施の4か月以上前に発行されて受験希望者に配布され、公式サイトでは5か月ほど前に公表されている。 【検定概要】 http://www.iken.gr.jp/outline/index.html#flow	A	
		18	○受検料の適正性・妥当性について点検・検証されている。	他言語の同等レベルの受験料を参考にしつつ、作問と運営に要する諸費用と相償する料金に設定している。 なお、近年の受験者数低迷と運用システムの開発・運用コスト増大の結果、厳しい運営環境が続いており、受験者増に向けた各種施策を検討・実施中であるが、受験料は据え置く方針である。	A	
		19	○その他の特記事項等。	2011年春季(第32回)検定よりインターネットによる願書受付と決済を導入して受験者の便宜を図っており、現在では受験者の70%以上がこれを利用して申し込みしている。 【出願方法】 http://www.iken.gr.jp/apply/index.html#apply-web	A	
		20	○試験監督業務のマニュアル等が定められており、試験実施会場・機関に事前に配付されており、試験監督者等の共通理解が図られている。	「監督者心得、手順、説明」が用意されており、実施の1か月以上前に全国の試験監督の手に渡るよう、配布している。また、各地の試験実施責任者には同じ時期に「実施要領(本部用)」を配布し、試験の実施・運営について全会場での共通理解が図られるようにしている。 さらに、会場ごとの個別対応事項(車椅子での来場者、難聴者、弱視者などの情報)を書面にて当該会場に配布し、受験者の便宜に配慮した実施体制の整備を図っている。	A	
		21	○受検者の本人確認は、顔写真を添付した受験票の用意や身分証による照合など、本人確認が確実に行われるよう講じられている。	二次面接試験のある1級と2級については受験票への顔写真貼付による本人確認を実施しているが、他の級については特に本人確認をしない方針である。 二次面接官には事前に受験票の写しを配布し、知己の受験者であるかどうかを確認させ、万一知己の受験者である場合は他のグループに割り当てることにより、公正な受験が実施されるようにしている。	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
3 実施 手続	② 試験 実施	22	○試験当日、天災や交通機関の遅延等があった場合には、試験開始時刻の変更や再受検の容認など、受検機会の確保について配慮されている。	「危機管理マニュアル」(非公開)にて対応を詳細に定め、各試験会場に事前に通知しているが、その概要は以下の通りである。 ・試験開始時刻を繰り下げる。 ・受験者の大多数が影響を受ける著しい障害が生じた場合は試験を中止し、受験料の繰り越し措置を検討するが、原則として納入された受験料は返金しない。 ・各試験会場の状況は原則として当日の総責任者(事務局長)に連絡し、協議することとしているが、緊急を要する事態においては各会場責任者が独自に判断し、追って事務局に結果を報告する。 【試験時間】 http://www.iken.gr.jp/info/index.html#schedule	A	
		23	○障がい者について、検定試験の目的や内容、規模等に応じた一定の配慮が考慮されている。	過去、以下のような事例が複数回あった。 ・下肢障害者(車椅子、松葉杖を使用) ・片耳ないし両耳の難聴者 ・全聾者 これら障害を有する受験者に対しては、受験申込時に申し出るよう、検定要項や公式サイトに記載しており、当該会場での受け入れ態勢を整えるよう努めている。具体的には以下の通りである。 下肢障害者については、十分なスペースを教室内に確保するとともに、エレベーターのない会場においては1階の会場を用意する。 難聴者については、可能な限りスピーカーに近い席を確保し、かつ、音量が適切であることを確認して試験を実施する。 全聾者についてはリスニング試験を免除する。 【聴覚に障害をお持ちの方】 http://www.iken.gr.jp/apply/index.html#special 【試験会場】 http://www.iken.gr.jp/info/index.html#place	A	
		24	【試験監督者の外部委託等を行う場合】 ○外部受託者等(法人・個人等)を総括する責任者が配置されている。	東京会場を除き、試験の運営・実施は当該試験地の日伊協会などの外部団体に委託しており、各会場ごとに責任者が任命されている。試験監督の人選も当該会場の責任者が行っている。 これらの委託団体及び責任者は既に十数年以上にわたる経験者であり、運営・実施について必要な意識と経験を有している。 全国の会場責任者の統括には協会事務局長がその任にあたる。	A	
		25	【試験監督者の外部委託等を行う場合】 ○受検手続きに関する共通理解を図り、円滑に試験監督業務を遂行できるよう試験監督者への説明・研修が実施されている。	試験実施の一か月前には「監督者心得、手順、説明」を配布し、運営・実施の共通理解を図っている。 また、未経験の会場責任者が選任された場合は直接会って業務の詳細を説明し、円滑な運営が実施されるよう図っている。	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
		26	○その他の特記事項等。	<p>毎回、受験者からアンケートを収集し、受験者の意見、要望、クレームなどを把握し、建設的な内容は即座に公式サイトや検定の運営に反映、あるいは次回の実施に反映している。</p> <p>例： ・「ハンカチ、ティッシュ、水などは机の上に置くことを許して欲しい」という要望が数件見られたため、次回開催以降は試験監督の許可を得たうえで、これらを机の上に置くことを可とした。 ・「携帯のバイブの音が気になった」というクレームが数件あったため、次回開催以降は発見次第、鳴動させた者を即時退場させることとした。 ・「受験票に印刷されている会場地図が分かりにくい」という意見が数件見られたため、詳細なアクセス案内を公式サイトに常時掲載することとした。 …等々</p>	A	
3 実施 手続	③ 事後 対応 等	27	○試験結果に関する一般情報(受験者数及びその構成、合格者数、合格率等)が、適切に公開されている。	<p>公式サイト、及び毎年発行している過去問題集に受験者数、合格者数、合否基準点などの情報を過去数年分掲載している。</p> <p>【検定概要】http://www.iken.gr.jp/outline/index.html#content</p>	A	
		28	○受験者への学習支援の観点から、試験問題や正答が公開されている。 (ただし、試験の性質上、公開することができないものを除き、事後の作問等に影響を及ぼさない範囲で)	<p>公式サイトには実施の2日後に選択回答の正解表を公表している。また、リスニング問題のスク립トや作文の模範解答例を印刷した正解表を結果通知と共に受験者に送っている。</p> <p>毎年発行している過去問題集には問題、翻訳、解説とともに各問題の正答率を表示している。</p>	A	
		29	○その他の特記事項等。	<p>公式サイトで第一回からの総計情報を公開している。また、過去4回の受験者数、合格者数、合格率、合否基準点、平均点などの統計情報を公開しているほか、希望者には第31回まで遡った統計情報を配布している。</p> <p>【検定概要】http://www.iken.gr.jp/outline/index.html#content</p>	A	

【評価の視点】 検定試験の結果が、学習成果を示す指標として社会に適切に評価され、実際に活用されるため、検定事業者等において活用促進に向けた適切な取組を進めていること。						
4 検定 結果 の 活用	検定 結果 の	30	○検定試験の結果を証明する合格証や認定証等が発行されている。	<p>合格者には、結果通知とともに伊文表記の認定証が送付される。また、希望者には過去の受験結果に遡って日伊文表記の合格証明書を有償で発行している。</p> <p>【試験結果】 http://www.iken.gr.jp/result/index.html#notice http://www.iken.gr.jp/result/index.html#publication</p>	A	
		31	○合格証や認定証等が発行されている場合には、受験者が獲得した又は保持している知識・技能の内容が一見して判断し得る記載がある。	<p>認定証と合格証のサンプルを公式サイトに掲載している。これらの証明書には合格者名、認定日、受験日、受験地、合格した級などが明記されている。</p> <p>【試験結果】 http://www.iken.gr.jp/result/index.html#notice http://www.iken.gr.jp/result/index.html#publication</p>	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
4 促進	活用促進	32	○試験結果の活用に係るニーズを把握するための取組(受検者や利用者(学校・企業等)に対するアンケート調査等)が行われている。	公式サイト「受験者の声」のコーナーに受験結果の活用(仕事での)の記事などを掲載してはいるが、受験者や学校・企業に対してのアンケート調査はこれまで実施していない。	C	試験結果の活用状況については、今後受験者に対してアンケートを実施し、結果を公開する方針である。
		33	○その他の特記事項等。	検定要項とともに年2回発行される機関誌“Le Ali”、および公式サイトに「受験者の声」のコーナーを設け、受験結果の活用状況などを配信して学習者の意欲増進を図っている。 また、公式サイトには誰でも書き込むことができる「情報交換コーナー(掲示板)」を設置し、イタリア語を活用した仕事などの情報を交換できるようにしている。 【受験者の声】 http://www.iken.gr.jp/voice 【情報交換コーナー】 http://www.iken.gr.jp/forum	A	
【評価の視点】 受検者の継続的な学習を支援するため、検定事業者等において適切な取組を進めていること。						
5 継続的な学習支援	継続的な学習支	34	○段階的・継続的な学習をサポートする過去問題、類似問題などの参考となる資料が提供されている。	前年度の過去問題、リスニングのスキript、翻訳、解説などを掲載した過去問題集を毎年レベル別に2分冊で発行している。 また、効果的な学習を支援するため、検定要項とともに年2回発行される機関誌“Le Ali”、および公式サイト「受験対策コラム」で学習の“ツボ”を連載している。 さらに、以下の学習ツールを配布し、受験者の学習をサポートしている。 ・eラーニング・システムにより、過去数年の過去問題と翻訳・解説を配布(有料)している ・全国のコンビニエンス・ストアに設置されているマルチ・コピー機で過去数年の過去問題と翻訳・解説の印刷を可能としている(有料。印刷されているアドレスにアクセスすればリスニングの音源も聞くことができる。) ・公式サイトで過去数年の問題からの抜粋を音源、翻訳、解説とともに無償で配布している。 【検定対策コラム】 http://www.iken.gr.jp/column 【学習ツール】 http://www.iken.gr.jp/tool	A	
		35	○学習意欲の促進のため、受検者の知識・技能レベルなどの情報を提供している。	試験終了後に発送される結果通知には申込者数、受験者数、合格者数、合格率などとともに当該受験者の各試験分野の得点、合格基準点、平均点、最高・最低点が記載され、受験者が自分の学習成果を明確に把握できるようにしている。 また、検定要項とともに年2回発行される機関誌“Le Ali”および公式サイトに受験者の声を掲載し、受験者の学習意欲の促進を図っている。 【受験者の声】 http://www.iken.gr.jp/voice	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
	援	36	○その他の特記事項等。	<p>公式サイトにイタリア語やイタリア文化に関わる情報源への豊富なリンク集を掲載しているほか、「参考書籍」のコーナーでは多種多様な書籍を紹介し、学習者への便宜を提供するとともに意欲の向上を図っている。</p> <p>原則として年に1回、イタリア語の学習機会が少ない地方都市を訪問し、イタリア語とイタリア文化に関する無料講習会を開催し、啓蒙活動を行っている。また、毎回アンケートを実施して受験者のニーズを把握し、行動に反映している。</p> <p>例： ・「記憶が新しいうちにリスニングの音源を聞いて復習したい」という要望を1件発見したため、実施の4日後には公式サイトに10日間の期間限定ではあるが、リスニングの音源を掲載した。その結果、1000回を超える再生があった。 ・毎回「参考書籍が不足している」という多くの声があるため、識者に働きかけ、参考書籍の執筆・発刊を促してきた。</p> <p>【お役立ちリンク集】http://www.iken.gr.jp/link 【参考書籍】http://www.iken.gr.jp/reference 【イベント情報】http://www.iken.gr.jp/event</p>	A	
6 情報公開	【評価の視点】 学習者や利用者(学校・企業等)に対して、パンフレットやインターネット等を活用して、検定試験の実施主体や目的、内容、規模等に関する情報が公開されていること。					
	1 実施主体	① 組織	○実施主体の「組織」に関する情報が公開されている。	<p>公式サイト「情報公開」コーナーで以下の情報を公開している。(組織図と事務処理体制を除く)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>公開(<input checked="" type="checkbox"/>web、<input type="checkbox"/>パンフレット、<input type="checkbox"/>募集要項、<input type="checkbox"/>その他)…組織の理念・目的</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>公開(<input checked="" type="checkbox"/>web、<input type="checkbox"/>パンフレット、<input type="checkbox"/>募集要項、<input type="checkbox"/>その他)…組織規定(定款・寄付行為等)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>公開(<input checked="" type="checkbox"/>web、<input type="checkbox"/>パンフレット、<input type="checkbox"/>募集要項、<input type="checkbox"/>その他)…組織体制(組織図、役員構成、事務処理体制等)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>公開(<input checked="" type="checkbox"/>web、<input type="checkbox"/>パンフレット、<input type="checkbox"/>募集要項、<input type="checkbox"/>その他)…組織内容(事業計画書、事業報告書等)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>公開(<input checked="" type="checkbox"/>web、<input type="checkbox"/>パンフレット、<input checked="" type="checkbox"/>募集要項、<input type="checkbox"/>その他)…問合せ窓口(電話番号、電子メールアドレス等)</p> <p><input type="checkbox"/>公開(<input type="checkbox"/>web、<input type="checkbox"/>パンフレット、<input type="checkbox"/>募集要項、<input type="checkbox"/>その他)…その他()</p> <p>【情報公開コーナー】http://www.iken.gr.jp/association/index.html#finance</p>	A	
		② 財務	○実施主体の「財務」に関する情報が公開されている。	<p>公式サイト「情報公開」コーナーで以下の情報を公開している。(外部委託の状況を除く)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>公開(<input checked="" type="checkbox"/>web、<input type="checkbox"/>パンフレット、<input type="checkbox"/>募集要項、<input type="checkbox"/>その他)…財務経理情報(収支計算書、貸借対照表、財産目録等)</p> <p><input type="checkbox"/>公開(<input type="checkbox"/>web、<input type="checkbox"/>パンフレット、<input type="checkbox"/>募集要項、<input type="checkbox"/>その他)…外部委託等の状況について</p> <p><input type="checkbox"/>公開(<input type="checkbox"/>web、<input type="checkbox"/>パンフレット、<input type="checkbox"/>募集要項、<input type="checkbox"/>その他)…その他()</p> <p>【情報公開コーナー】http://www.iken.gr.jp/association/index.html#finance</p>	A	
		③ 方針等	○実施主体の「情報公開や個人情報保護の方針等」に関する情報が公開されている。	<p>公式サイト「情報公開」コーナーで以下の情報を公開している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>公開(<input checked="" type="checkbox"/>web、<input type="checkbox"/>パンフレット、<input type="checkbox"/>募集要項、<input type="checkbox"/>その他)…情報公開の方針</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>公開(<input checked="" type="checkbox"/>web、<input type="checkbox"/>パンフレット、<input type="checkbox"/>募集要項、<input type="checkbox"/>その他)…個人情報保護の取組(方針等)</p> <p><input type="checkbox"/>公開(<input type="checkbox"/>web、<input type="checkbox"/>パンフレット、<input type="checkbox"/>募集要項、<input type="checkbox"/>その他)…その他()</p>	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
6 情報公開	2 実施内容	① 目的	○検定試験の「目的」に関する情報が公開されている。	公式サイト、検定要項などに掲載している。 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…検定試験の目的(コンセプト) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他()	A	受験者に明確な学習目標を与えるため、各級の出題範囲をより明確に公表することを理事会にて協議する。
		② 内容	○検定試験の「内容」に関する情報が公開されている。	公式サイト、検定要項などに掲載している。 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…検定試験の領域(分野) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…特色 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…検定試験の対象者(受験資格等) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…試験範囲 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…難易度(合格率等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他() 【検定概要】 http://www.iken.gr.jp/outline 【受験案内】 http://www.iken.gr.jp/info	A	
		③ 手段	○検定試験の「手段」に関する情報が公開されている。	公式サイト、検定要項などに掲載しているが、作文と面接試験の審査基準や試験問題の作成方法は非公開である。 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…検定試験の測定手法(筆記試験(多岐選択式、記述式等)、CBT試験、実技試験、面接試験等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…審査・採点基準やその変更点 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…試験問題の作成方法 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…合格点・設問別配点等 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…講座受講の必要性及び関連情報(必要経費・受講時間数等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他() 【検定概要】 http://www.iken.gr.jp/outline 【受験案内】 http://www.iken.gr.jp/info	A	
	3 実施手続	① 事前準備	○検定試験の「事前準備」に関する情報が公開されている。	公式サイトと検定要項に受験申込から受験、結果通知までの流れが掲載されている。 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…受験手続(実施規則・要綱等) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…出願期間・出願方法 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…受験料及び受験料以外に要する費用(合格証や認定証の発行手数料、登録料等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他() 【検定概要】 http://www.iken.gr.jp/outline 【受験案内】 http://www.iken.gr.jp/info 【出願方法】 http://www.iken.gr.jp/apply	A	
		② 試験実施	○検定試験の「試験実施」に関する情報が公開されている。	天災や事故などによる大規模な交通機関の障害が発生した場合には、公式サイトに対応を掲載している。また、障害者への配慮については、受験申込時に本人から申し入れがあれば個別対応することとしている。 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…天災や交通機関遅延等への対応方針 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…障がい者への配慮措置 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他()	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
6 情報公開		③ 事後対応	○検定試験の「事後対応」に関する情報が公開されている。	試験結果の統計情報は結果集計が完了次第、公式サイトに発表しているほか、毎年発行している過去問題集に試験問題や詳細解説とともに掲載し、学習意欲の促進を図っている。 問題冊子は持ち帰り可としているが、正答一覧表は試験実施後2日以内に公式サイトに発表している。また、リスニング問題のスク립トや作文の模範解答例を印刷した正解表を結果通知と共に受験者に送付している。 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☑その他)…試験結果に関する一般情報(受検者数及びその構成(年齢別、業種別等)、合格者数、合格率等) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☑その他)…試験結果に関する一般情報(経年) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☑その他)…試験問題と正答 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他()	A	
	4 検定結果の利用促進	検定結果の利用促進	○「検定結果の利用促進」に関する情報が公開されている。	合格認定証や証明書は公式サイトにサンプルを掲載している。 また、合格者の経験談や職場での活躍状況については検定要項とともに年2回発行される機関誌“Le Ali”に掲載するとともに、公式サイト「受験者の声」のページで紹介し、受験者の学習意欲の促進を図っている。 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他) 合格証や認定証等 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☑その他) 検定試験の結果活用に関する情報(学校・企業等での利用状況、合格者の活躍状況等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他) その他()	A	検定結果の利用促進状況については、今後アンケートで情報を収集する。
	5 継続的な学習支援	継続的な学習支援	○検定試験の「継続的な学習支援」に関する情報が公開されている。	過去問題は公式サイト、及び毎年発行される過去問題集に掲載している。 各級などの設定や技能レベルについては公式サイトや検定要項に明記しているが、必要となる学習内容や標準的な学習時間については公開されていない。 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…各級等の設定(上位級との関係等) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☑その他)…過去問題・類似問題等の情報 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…必要となる学習内容、合格までの標準的な学習時間 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…類似試験の有無や関係性・受検者(不合格者)の現状の知識 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…技能レベル ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…関連する学習機会に関する情報 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他()	B	受験者に明確な学習目標を与えるため、必要となる学習項目や合格までの標準的な学習時間などを公表することを理事会にて協議する。